

媒体関係者様各位

荒川区議会最年少議員でアイドル “夏目亜季” 初書籍出版記念トークショー取材のご案内

謹啓 時下ますます御発展のことお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、ありがたく御礼申し上げます。

この度、夏目亜季の初書籍である「逆境力～難病、子宮頸がんを乗り越えアイドルから政治家へ～」が11月8日に全国書店にて発売することが決定しました。つきましては10月30日（日）にふらっとにっぽりにて14時20分より出版記念トークショーを開催いたします。是非とも多くの皆様に取材に来ていただければと思います。もし当日これなくも、お手隙の際に取材していただければと思います。

何卒、ご検討のほどよろしくお願い致します。

謹白

内容：夏目亜季 初書籍 出版記念トークショー

日時：2022年10月30日（日）14：20～

場所：ふらっとにっぽり（多目的室 AB）

住所：東京都荒川区東日暮里6丁目176 日暮里駅・三河島駅下車徒歩8分

時間：14：00～受付開始 / 14：20～トークショー

※トークショー 終了後 囲み取材・個人取材のお時間を設けております。

※初書籍の概要も添付させていただきます。

■お問い合わせ

広報担当：大石 樹

電話：09037021026（出られない時もあるので留守電に入れてくださいましたら幸いです）

住所：荒川区東尾久3623305

E-mail：natsumeaki.com@gmail.com

逆境力

～難病、子宮頸がんを乗り越え
アイドルから政治家へ～

現役アイドル政治家
夏目 亜季



逆境力

難病、子宮頸がんを乗り越え
アイドルから政治家へ



子宮頸がんをばっ壊す!



NHK 解説 立花 孝志

彼女は弱い人の
気持ちがわかる人!
だからスカウトした

彼女の乗り越えてきた
苦労は計り知れない。
応援しています。

堀江 貴文



現役アイドル
政治家 夏目 亜季

私はがん宣告時の目標だった30歳
を迎えることが出来ました。

生かされたのにはワケがある。
そう思っ自分の使命を人生かけて
全うしていこうと思います。

子宮頸がんをぶっ壊す！

書籍の帯に、立花孝志氏・堀江貴文氏からの
ご推薦メッセージをいただきました。

～書籍の概要～

「誰一人、私と同じような思いをさせてはならない」。私は23歳で子宮頸がんになり。子供が産めない体になりました。実は子宮頸がんは、「ワクチン」で予防できるがんなのです。「夏目さんもHPVワクチンを打っていれば・・・」あの主治医の言葉は忘れもしません。知っていたか、知らなかったかで生死が分かれるようなことはあってはなりません。「制度で守れる命は守りたい」この思い一つで政治家になりました。ぜひこの本を手にとって予防ができるということ、予防の大切さを知ってほしい。

～まさか自分がまだ若くして難病とも闘いながら「がん」とも闘うことになるなんて・・・。私はこれからどんな人生になるのだろうか。30歳まで生きられるのだろうか・・・。いや、絶対に生きたい！

病気の人生に私は「負けない」。当時はそんな思いを抱いていました。不幸中の幸い、私は子どもが産めない身体になった事と引き換えに「生きる」事が現在できています。

どうかこの私の半生と体験談を読んで何か1つ考えるきっかけになってくれれば幸いです
（「はじめに」より）

第1章 20歳でアイドル歌手へ

第2章 23歳でがん宣告

第3章 人生はジェットコースター

第4章 28歳で政治家の道へ

第5章 子宮頸がんは予防できます

（「目次」より）

夏目亜季(なつめ・あき)

1990年10月26日生。京都府舞鶴市出身。17歳の時に自己免疫性溶血性貧血という難病になり、18歳の時に交通事故でくも膜下出血等の重症を負う。2011年の20歳の時に上京しアイドル活動を開始。2012年に初めてテレビ出演(ドラマ『GTO 完結編さらば鬼塚!卒業スペシャル』など)に出演するが難病が再燃。2013年アニメ『サクラカプセル』をプロモーションする「看板娘」に選ばれ2014年CD・DVDデビューするも、23歳で子宮頸がんが発覚。2015年子宮頸がんが寛解、初のソロシングル「負けない/笑顔」を生誕祭ライブでリリース。2016年講演活動を開始するが、全身性エリテマトーデスという難病が悪化し人生で一番長い入院生活を送る。2017年、夏目亜季サポートチーム「プロジェクト nap」結成。ホリエモン万博にてアイドルフェスなど主催する。2018年、ヒロイン役で初舞台。1stアルバム「DEPPAヒーロー参上!」を発売。再び軌道に乗り始めたが、堀江貴文氏との対談をきっかけに政治家を志す。

2019年4月、最年少議員として荒川区議会議員に初当選。2020年チバテレビでレギュラー番組「夏目亜季とバズっちゃお!Z」OA。自身の活動が認められイギリスのThe Economistからも取材を受け新聞記事となる。現在もアイドルを続けながら、政治活動に励む。